



学校だより

令和6年度 6月号
令和6年 5月31日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

自分の頑張り仲間を認める

～成長する大谷口中学校～



校長 小林 正樹

色とりどりの紫陽花を目にするようになりました。気温の変化も大きく、体調管理にも気を配らなければならない季節です。確実に夏に向かってのを感じます。1学期の折り返しを迎えますが、生徒一人ひとりが生活のリズムを確立し、授業や部活動に励み、学校全体が活気づいています。そのような中、6月1日からは、さいたま市中学校総合体育大会が始まります。3年生にとっては、これまで練習してきた成果を発揮する最後の大会となります。生徒の皆さんは悔いが残らないよう全力で臨んでください。地域・保護者の皆様、様々な場面で生徒のすばらしい活躍と成長を期待してください。

さて、5月17日（金）に全学年で開催した「第50回体育祭」は、3年生が最上級生としての素晴らしい姿を後輩たちに示し、どの学年の生徒も自分のできることに全力で取り組む、50回を記念するすばらしい体育祭となりました。

ここで、開会式の生徒代表、3年生の浅海くんと和地さんの選手宣誓を紹介します。

「宣誓、我々選手一同は、多くの人に支えられこの場に立つことができます。私たちが見てきた先輩の姿は、コロナ禍でした。全力で声を出したり、円陣を組んだりすることすら制限されていました。制限のない体育祭ができることに大きな喜びを感じています。明るく元気な私たちらしさを表現できるよう、声が響く集団走と体操に力を入れて練習してきました。第50回という節目にふさわしい体育祭にするため、伝統と歴史を受け継ぎながらも新しい風を吹かせることができるよう一体感が生まれる体操を創りました。勝敗に関わらず、どんなことがあっても周りにいるこの仲間と笑顔で競い合い、支え合う美しい戦いにし、『勝敗笑美戦（かっぱえびせん）』というスローガン達成に向け、全校生徒が、全力競技、全力応援、することを誓います」と立派な態度で私の目を見て高らかに宣誓してくれました。また、閉会式の生徒会長菅原君の講評は、地域や保護者、教職員に対して感謝を述べた後、それぞれの学年の方向に体を向け丁寧に話しかけている態度に感銘しました。すべての学年で応援する姿と素敵な笑顔からたくさんの感動をもらいました。ありがとう。仲間と得られる感動の積み重ねの中から、自分の頑張り仲間を認めていくことで、生徒一人ひとりの中学校生活の積み重ねが豊かになると確信できたそんな体育祭でした。3年生の素晴らしい姿を2年生、1年生もしっかりと記憶しその伝統を受け継ぎ、これからも大谷口中学校をたくましく築いていってくれることを強く期待します。

私は、学校行事等を通して、好ましい人間関係を育てていくことができると考えています。自分との違いを認めた上で相手を受け入れ理解し、自分と違った考えをもっている相手でも仲間として受け入れることができる。そんなお互いを尊重し合える人間関係を築いていくことができると考えています。好ましい人間関係を育てる上で重要なことが一人ひとりの「自尊感情」です。「自分を大切にしたい、自分を好きだと感じる」感覚です。自尊感情が高い人は、何事に対しても積極的に取り組み、豊かな体験を積み重ねていく中で、さらに自信がつき、自分を受け入れ、他者をも受け入れていくことができるようになります。つまり、自分を大切にすることでなく人への思いやりをもつことができ、ますます魅力的な人になっていくと言われています。そのためには、我々教師、親など、大人たちの関わりがとて大切になります。大人たちが子どもたちのよさを認め、ほめたり、励ましたり、一緒に悩んだり、子どもたちの心に寄り添っていくことが重要です。

最後に、6月はさいたま市内全ての学校が「いじめ撲滅強化月間」として、いじめのない学校づくりを目指して重点的に取り組みます。本校でも、放送による校長講話や生徒会、学級での話し合いを予定しています。今後も学校、家庭、地域の連携のもとで、大切な子どもたちを見守ってまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。